

突然のおハガキで失礼致します

今さら他人に聞けない常識

●繁殖と虐待の因果関係

女性を使って「一生、大切に大切に飼います」と嘘をつかせて、あちこちの産ませた飼い主のところへもらいに行かせ、虐殺を繰り返した男がいる。この例からも、繁殖には虐待の背後責任があると解ります。協同正犯の罪に問われることも。

●遺棄の定義

産ませた飼い主は命を持って余し、家から追い出すために、新しい飼い主を探すのです。なので、実質 遺棄。

●多頭飼育できる人でも、絶対に産ませないで。

多頭飼育できるなら、保健所から引き取るとか被災動物を引き取れば、多くの命が救われます。財力がある人でも、明日には失業するかも。危機管理能力のない人は動物を不幸にします。不妊手術をしておけば、災難にあっても被害を最小限に食い止められます。

●メスだけでは妊娠しない、オス飼い主にも責任の半分が。

去勢しないと遠出をして交通事故・エイズ等に感染します。
近年は生後3ヶ月位から手術できます。

●『不幸な動物を無視できない性分を有する者』の生活権

有志は『苦しむ動物を無視できない性分を有している』ため、不良飼い主に代わって、飼育にかかる費用を負担するハメになってしまっている。有志が飼い主へ「去勢不妊費・エサ代・治療費はあなたが自分で出さなくてはいけないのですよ」と啓発すると、不良飼い主は「善意でやるなら、あなたが全部負担すべきでしょ」と反撃してくる。繰り返すが、有志は『苦しむ動物を無視できない性分を有している』ため、不良飼い主に代わって、飼育や活動

にかかる費用を負担するハメになる。結果、活動費に行き詰まる。永年、活動してきても氷山の一角しか助けきれなかったと総括する。一部の有志が私財をなげうって頑張ったところで、焼け石に水だと総括する。だから、飼い主ひとりひとりのモラルを高めるために啓発するのだ。善意で助けるなら虐待飼い主へ文句を言うべきではないと言い放つ連中は、歪んだ権利意識を持ち、飼い主責務を放棄した「ゴネ得」である。残念なことに、そういう連中が自治体の長となっていたり、新聞記者にもいる。

営業妨害について

●営業妨害罪は、営業を妨害しようという意図をもって行った場合にのみ成立する●他に連絡の手段がない場合、営業妨害にはあたらない●上記の『不幸な動物を無視できない性分を有する者の生活権』からしても、有志が不良飼い主へ啓発の電話をするのは営業妨害ではない。因果関係からも解るように、有志の生活権・財産権を侵害しているのは不良飼い主だからだ。不良飼い主がいてこそ、有志が自費を投じて助けるハメになるのだ。●「営業妨害だ！」と一蹴するのは、債権者の権利の侵害。●★住民サービスをはき違え、通報者である不良飼い主の権利なるものを守ることに傾斜し、因果関係を考えない警官がいる。そして『不幸な動物を無視できない性分を有している者』の人権侵害をする。それが警察全体の社会的評価を下げるのだ。

《因果関係》～～遺棄・繁殖をする不良飼い主がいるから、有志は私財を投じて動物を助ける。複数の不良飼い主に対して憤る。自分の力だけでは氷山の一角しか助けきれず胸が痛むからだ。だからこそ飼い主へ啓発するのだ。飼い主への嫌がらせでも営業妨害でもない。

●個人批判こそ民主的

「日本人が悪い」「社会全体の責任」という批判のしかたは悪くない人までも道連れにして批判することになる。これこそ人権侵害。個人攻撃は悪い人を選んで批判するため人権侵害ではない。犯罪者を裁くにあたって犯人を特定して逮捕するではないか。社会全体の責任として日本人全員を逮捕するわけではないのだ。当方は今後とも、悪い者を厳選して個人批判を続ける。

アニマルポリス 福島市矢剣町11-3 星野節子（主婦）024-563-7650
ブログ <http://ameblo.jp/animal-police>
アメーバ検索で「動物の繁殖は虐待」で検索を
ホームページ <http://www2.tky.3web.ne.jp/~meme/>
Infoseeで「アニマルポリス 星野」で検索を

ペット店・ブリーダーは反社会的な職業であり、
あってはならない職業だと思います

渡 利 に

猫虐待飼育者がいます

猫を救うために、協力してくださる方はいませんか
協力者へは
虐待飼い主の住所氏名を公開します

アニマルポリスは県警本部・福島署と情報を共有することがあります

このハガキを名誉毀損だと騒ぐ人物がいたら
その人物こそが虐待飼育者だと疑ってください
(この葉書は本人へも送付済)

虐待飼育をやめさせるために、

1、飼い主へ頻繁にエサを届け、ついでに、飼い方アドバイスを
をする。監視効果あり。

2、飼い主から引き取って飼ってくれる方はいませんか。(必ず去勢避妊をする方) 虐待飼育されている猫は10頭以上。



【目撃情報】

●エサをろくに与えず、猫たちは、もぐら・ねずみを食べている。おしりから腸が出して死んでいた●飼い主は、以前はブリーダーをしていたようだ●飼い主は、去勢不妊手術を受けさせない。繁殖・衰弱死を繰り返している●飼い主は保健所へ猫を渡して減らしたようだ●猫のフンにはウジが湧いている●現在10匹以上いる。妊娠中の猫もいる。去勢不妊をしていないのに10匹程度ということは、不適切飼育によって衰弱死した頭数がかなりあるということ。

アニマルポリスの活動は、福島でもトップレベルの極貧生活を続ける主婦によるもの。築90年以上のボロ屋敷に住み、テレビなし、車なし、新聞なし、エアコンは冷房のみ、換気扇なし。お金があって活動しているのではなく、活動を続けてお金がなくなった。「お金をもらって活動してるんだろ！」と暴言を吐く輩へ言いたい。ボランティアやってお金をもらえらるなら、あなたこそボランティアすれば良いのでは？と。活動してまともな生活ができるなら、皆がマネするだろうが、誰もマネしない。それだけ過酷な活動だということ。楽なところには人が集まり、過酷なところには人は集まらないものだ。

～～～繁殖は虐待～～～

●産ませた飼い主は命を持て余し、家から追い出す目的で新しい飼い主を探すのです。譲り受ける人は誰しものが初めは「一生大切に大切に飼います」と言うが、最後まで飼えない人が後をたちません。虐殺目的で複数回に渡って、産ませた飼い主から譲り受けた男がいます。男は女性を使って「一生大切に大切に飼います」と言わせて、産ませた飼い主から譲り受けたのです。●産ませた飼い主は経済的に行き詰まり、衰弱死・病死させている。それは自然淘汰ではなく虐待飼育にあたる。

～～～個人批判こそ正義～～～

「日本人が悪い」「社会全体の責任」じゃ、悪くない人までも道連れにして批判することになる。なので不特定多数者への人権侵害になるが、個人攻撃は人権侵害にはならない。「個人攻撃は良くない」という論調は歴史捏造によって日本を陥れようとする反日左翼によるスパイ活動のひとつ。日本でやりたい放題やるために「個人攻撃は良くない」という世論を作り上げる必要があったのだ。

アニマルポリス
〒960-8066 福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650 (tel fax)
ブログ <http://ameblo.jp/animal-police>
サイト <http://www2.tky.3web.ne.jp/~meme/>